



## 参考文献目録

本書の語句キャプションおよび読み取り解説執筆に際して参考とした文献を、著者名の五十音順に配列した。同一著者の文献は、発行年次順とした。著者・編者と発行所が同じ場合は、発行所の記載を省略した。

- 愛知県教育委員会編 1968 『津島祭』
- 青木美智男 2004 「地域の自覚 往来物と名所図会」『日本の時代史29 日本史の環境』吉川弘文館
- 秋里籬島（竹村俊則校注） 1976 『新版 都名所図会』角川書店
- 秋里籬島（市古夏生・鈴木健一校訂） 1999 『新訂都名所図会』全5巻（ちくま学芸文庫）筑摩書房
- 秋里籬島（粕谷宏紀監修） 2001 『新訂東海道名所図会』全3巻（新訂日本名所図会集1・2・3）ぺりかん社
- 浅井了意（朝倉治彦校注） 1979 『東海道名所記』平凡社（東洋文庫）
- 浅野秀剛・吉田伸之編 2003 『大江戸日本橋絵巻―「熙代勝覧」の世界』講談社
- 浅野三平 1975 『近世中期小説の研究』桜楓社
- 石井謙治 1995 『和船Ⅰ』（ものと人間の文化史76-1）法政大学出版社
- 石井謙治 1999 『和船Ⅱ』（ものと人間の文化史76-2）法政大学出版社
- 今井金吾 1994 『今昔東海道独案内』日本交通公社出版事業局
- 岩崎宗純 2005 『箱根路歴史探索』夢工房
- 魚河岸百年編纂委員会 1968 『魚河岸百年』日刊食料新聞社
- 近江東海道400年記念事業実行委員会編 2001 『近江東海道ガイドブック』
- 大石久敬（大石慎三郎校訂） 1969 『地方凡例録』上・下・（日本史料選書）近藤出版社
- 大分市歴史資料館 2001 『江戸紀行一名所・名物・旅模様―』（第20回特別展）
- 大熊喜邦 1942 『東海道宿駅と其の本陣の研究』丸善株式会社
- 大蔵永常（飯沼二郎校注） 1994 『広益国産考』「卷之六」（『日本農書全集14』）社団法人 農山漁村文化協会
- 大田区立郷土博物館 1993 『大田区海苔物語』
- 大田区立郷土博物館 1999 『麦わら細工の輝き』（CD-ROM『輝け！私たちの大森麦わら細工』2007年、収録）
- 大津市歴史博物館 1993 『琵琶湖の船―丸木舟から蒸気船へ―』（企画展図録）
- 岡田啓・野口道直 1998 『尾張名所図会』（版本地誌大系17）臨川書店
- 粕谷宏紀 1997 『東海道名所図会を読む』東京堂出版
- 加藤貴 2003 「行楽と信仰の流行度一名所番付とお国自慢意識」（林英夫・青木美智男編『番付で読む江戸時代』）柏書房
- 神奈川県立歴史博物館 2001 『江戸時代の東海道―描かれた街道の姿と賑わい―』（東海道宿駅制度400年記念特別展）
- 川崎市市民ミュージアム 1994 『「東海道」読本―東海道展解説図録―』
- 喜田川守貞（宇佐見英機校訂） 1996～2002 『近世風俗志（守貞謄稿）』全5巻（岩波文庫）岩波書店
- 清河八郎（小山松勝一郎校注） 1993 『西遊草』（岩波文庫）岩波書店
- 建築用語辞典編集委員会 1998 『図解建築用語辞典』理工学社
- ケンペル（斎藤信訳） 1977 『江戸参府旅行日記』（東洋文庫）平凡社
- 小林丹右衛門（安達満翻刻・校注） 1997 「川除仕様帳」（『日本農書全集』65「開発と保全2」）農山漁村文化協会）
- 財団法人東海水産科学協会・海の博物館編 1984 『合冊三重県水産図解』
- 財団法人東海水産科学協会・海の博物館編 1985 『印影三重県水産図説』

- 佐山半七丸（高橋雅夫校注） 1982 『都風俗化粧伝』（東洋文庫）平凡社
- 滋賀県立琵琶湖博物館 1999 『湖の船—木造船にみる知恵と工夫—』（第7回企画展示）
- 静岡県 1989 『静岡県史』資料編23民俗1
- 静岡県教育委員会文化課編 1994 『静岡県歴史の道東海道』静岡県教育委員会
- 静岡県漁業組合取締所 1984 『静岡県水産誌』静岡県図書館協会
- 藪関月 1998 『伊勢参宮名所図会』（版本地誌大系16）臨川書店
- 篠原曜 2000 『諸国名所図会に描かれた近世後期の経済活動の諸相』（神奈川大学大学院経済学研究科経済学専攻提出修士論文）
- 島田市史編纂委員会 1968 『島田市史』中、島田市役所
- 十返舎一九（中村幸彦校注） 1995 『東海道中膝栗毛』（新編日本古典文学全集81）小学館
- 新編岡崎市史編さん委員会編 1992 『新編岡崎市史3 近世』岡崎市
- 桑門義道 1977 『影印校注 久波奈名所図会』久波奈古典籍刊行会
- 高木正年（北村敏校注） 1993 『海苔培養法』『日本農書全集』45「特産1」農山村文化協会
- 高田衛 2004 「組み立て式『近世』という空間の話—『東海道名所図会』私語」『日本文学』53
- 武井豊治 1994 『古建築辞典』理工学社
- 竹村俊則編 1981 『日本名所風俗図会』8「京都の巻Ⅱ」角川書店
- 旅の文化研究所編 2002 『絵図に見る伊勢参り』河出書房新社
- 旅の文化研究所編 2006 『絵図に見る東海道中膝栗毛』河出書房新社
- 千葉正樹 2001 『江戸名所図会の世界 近世巨大都市の自画像』吉川弘文館
- 千葉正樹 2007 『江戸城が消えていく 江戸名所図会の到達点』吉川弘文館
- 知立市史編纂委員会編 1976 『知立市史』上・下
- 坪井利弘 1977 『図鑑瓦屋根』理工学社
- 寺島良安 1970 『和漢三才図会』上・下、東京美術
- 豊橋市史編集委員会編 1997 『三河国吉田名蹟綜録』
- 内務省土木局（楠善雄解説） 1976 『土木工要録（付録）』（江戸科学古典叢書8）恒和出版
- 西和夫 1990 『図解古建築入門 日本建築はどう造られているか』彰国社
- 日本浮世絵学会 1997 『広重と東海道'97』西武百貨店
- 日本学士院 1959 『明治前日本漁業技術史』日本学術振興会
- 農商務省水産局 1912 『日本水産捕採誌』水産書院（復刻版、岩崎美術社、1983年）
- 橋場信雄 1970 『建築用語図解辞典』理工学社
- 秦石田・秋里籬島（村井康彦解説） 1997 『近江名所図会』（版本地誌大系13）臨川書店
- 林英夫編 1981 『日本名所風俗図会』17「諸国の巻Ⅱ」角川書店
- 原田信男 2003 『江戸の食生活』岩波書店
- 古島敏雄・安芸皎一編 1972 『近世科学思想』上（日本思想大系62）岩波書店
- 町田市立博物館編 1996 『町田市立博物館蔵品図録大津絵』
- 三島市 1959 『三島市史』下巻
- 森銑三・鈴木棠三・朝倉治彦編 1971 『日本庶民生活史料集成』15巻「都市風俗」三一書房、（加藤曳尾庵『我衣』）
- 森火山 1977 『日本橋魚河岸』東京魚市場卸協同組合
- 森銑三ほか監修 1980 『続燕石十種 第二巻』中央公論社
- 山梨県 2003 『山梨県史』民俗編
- 横浜市歴史博物館 2001 『屏風・絵巻に描かれた東海道』（企画展東海道宿駅制度400年記念PART1）
- 栗東歴史民俗博物館 2001 『近江の街道』（市制施行記念展）
- 1972 「伊勢参宮献立道中記」（『日本庶民生活史料集成』20、三一書房）

# 索引

図版に付けた事物・行為についての語句キャプションを五十音順に配列した。  
図版番号—語句キャプション番号の形式で表示した。

## あ

- 青花 ……………20-1
- 青花紙…………… 20-9
- 赤子を負ぶう女性 ……………44-32
- 赤子を負ぶう……………26-4
- 赤須賀地藏尊……………21-8
- 上がりかまち……………37-14
- あぐらをかく(膝栗毛)……………23-10
- 明荷……………3-22、44-29
- 上げ見世(守貞)……………11-3、14-13、16-12、38-18
- 足洗い桶……………15-25
- 足場板……………32-5
- 愛宕山「愛宕」……………17-17
- 兄若い衆……………32-3
- 姉さんかぶり……………20-12、37-20、44-7
- 浮子……………24-6、28-5
- 鏡……………25-22
- 安倍川……………9-1
- 編笠(守貞)……………11-28、33-2、42-28
- 網船(明治前日本漁業技術史)……………24-5
- 行灯……………4-23
- 行灯看板(守貞)……………4-2
- 息杖……………6-1、9-11、12-23、38-38
- 息杖で荷を支える……………37-3
- 息で手を暖める……………26-10
- 池……………4-9
- 漁火……………28-14
- 石臼……………11-7
- 石垣……………21-5
- 板間……………2-2
- 板船……………18-2
- 一の鳥居……………5-21
- 井戸……………41-16
- 犬……………14-20、18-6、27-7、38-23
- 犬走り……………14-7
- 犬矢来……………14-6
- 猪……………1-9
- 猪をかまう……………1-11
- 入母屋……………10-12
- 囲炉裏……………44-4
- 外郎……………46-6
- 鵜狩網(三重県水産図説)……………21-1
- 牛……………39-15
- 牛方……………40-14
- 「宇田川町」……………17-10
- うだつ……………14-19
- 打掛……………13-7
- 団扇……………30-2、42-2
- 馬……………8-6、14-22、23-2、39-4、40-6
- 馬越え……………7-11
- 馬の沓……………44-26
- 馬のわら細工……………25-6
- 厩……………41-14
- ウミウ……………28-15
- 海を眺める……………36-11
- 瓜……………43-2
- 柄鏡……………15-7
- 絵皿……………38-10
- 越中禪(守貞)……………1-4、2-16、9-15、29-9
- 江戸脚絆(守貞)……………12-20
- 江戸城……………19-4
- 江戸大八車(守貞)……………19-2
- 会符(膝栗毛)……………2-14、42-22
- 絵筆……………38-11
- 烏帽子……………33-18
- 縁……………4-5
- 縁側……………39-23
- 縁台……………12-7、20-21、23-14、25-10、39-3、40-4、  
44-16、45-4
- 笈……………6-8
- 大井川……………7-1
- 大籠……………42-21
- 大籠出(地方凡例録)……………8-1
- 大口袴……………34-5
- 大榭(近江名所図会)……………29-10
- 大坂帽子(都風俗化粧伝)……………16-25
- 大皿……………42-13
- 大太鼓……………33-9
- 大津絵……………38-3

大津絵・鬼の念仏……………38-2  
 大津絵・雷と錨……………38-17  
 大津絵・大黒……………38-13  
 大津絵・鷹匠……………38-16  
 大津絵・瓢箪鯉……………38-8  
 大津絵・藤娘……………38-15  
 大津絵・槍持ち……………38-12  
 大聖牛……………8-4  
 大布団（守貞）を運ぶ……………2-19  
 大棟……………15-30、40-15  
 大山……………32-15  
 おかもち……………16-15  
 置き看板（守貞）「透頂香」……………46-4  
 桶……………22-7、37-22、43-4、44-12  
 押送船……………19-12  
 おじぎをする……………14-17  
 小田原提灯……………30-8  
 おはしより……………3-15  
 帯……………44-34  
 負ぶわれる子……………1-14  
 重石……………20-18  
 おもちゃをねだる……………25-17  
 表門……………2-5  
 檻……………1-8  
 折鳥帽子……………34-2  
 折敷（守貞）……………42-15  
 温泉に入る……………35-1  
 おんぶ紐……………44-33

## か

櫂……………26-12、30-5  
 飼葉桶……………8-5、14-21  
 貝を採る……………21-3  
 篝火……………30-14  
 柿の素袍……………33-22  
 籠……………20-3、23-20、31-8、35-22、42-5、43-20  
 駕籠……………2-10、7-3、9-18、10-14、30-7、39-2、40-2、  
 41-20、42-36  
 駕籠かき棒……………46-20  
 駕籠人足（膝栗毛）……………15-17、46-21  
 笠……………1-19、5-8、14-8、22-24、23-18、25-12、39-14、  
 42-32、43-12、46-17  
 傘……………34-11  
 風見……………18-10  
 笠輪（我衣）……………4-4  
 笠を振って合図する……………24-3

舵……………5-16  
 舵柄（和漢）……………5-14  
 肩入れ……………38-30  
 肩衣……………34-4  
 肩車……………7-10、8-11、9-2  
 肩車から客を降ろす……………9-4  
 肩車をする……………7-7  
 刀を担ぐ……………25-25  
 片肌脱ぎ……………6-11、13-17、15-4、35-8、37-26、  
 42-29、43-22  
 片膝立て……………6-4、15-8  
 肩に担ぐ……………43-15  
 合羽（守貞）……………23-11、27-18、42-31  
 釜……………6-12、23-15  
 竈（守貞）……………5-18、23-16、39-10、42-18、44-6  
 袴……………29-20、32-17  
 髪を櫛けずる……………15-5  
 髪を梳く……………15-2  
 禿（守貞）……………13-8  
 瓶……………43-3  
 軽尻……………9-22  
 唐破風……………2-9  
 川会所……………7-12、10-4  
 筭……………13-12  
 看板……………38-1  
 看板「伊豆屋」……………45-1  
 看板「ういらう」……………46-1  
 看板「うばもち」……………39-1  
 看板「ぜさい」……………41-7  
 木具膳（守貞）……………42-12  
 騎射笠……………33-14  
 煙管……………3-9、6-7、9-16、12-24、22-16、27-21、31-5、  
 38-6、42-34、44-13  
 煙管で煙草を吸う……………1-18  
 牛車……………17-9  
 木戸（守貞）……………17-3、19-8  
 木鉢……………39-8  
 擬宝珠……………19-3  
 着物をはたく……………1-3  
 客門（守貞）……………41-6  
 客を引く……………15-22  
 脚絆……………1-5、3-10、4-13、9-13、22-17、23-3、  
 25-21、31-6、35-13、37-5、38-40、43-23、44-17、  
 45-10、46-8  
 京格子（守貞）……………11-12  
 京橋……………17-1  
 漁船〈猪牙船〉……………28-4

潜戸 .....14-16  
 草双紙 .....16-26  
 草津川の土手 .....1-23  
 草屋根 .....20-19、22-26、38-44、39-17、41-2、42-38、  
 44-1、45-7  
 櫛 .....4-22、13-11、15-6、22-12、37-9、43-5  
 降り棟 .....14-5、41-4  
 山梔子 .....44-11  
 口を扇子で覆う .....16-11  
 杓 .....12-21  
 轡 .....3-25、9-21、22-20、42-26、44-25  
 熊手 .....31-3  
 鞍 .....3-26、25-23  
 蔵屋敷 .....19-13  
 黒い翁面 .....34-9  
 黒襟 .....3-13  
 鍬 .....34-10  
 桑名城 .....5-22、21-4  
 芸妓 .....12-4  
 警護 .....29-14  
 袈裟 .....16-2、29-3  
 下駄 .....3-4、15-24  
 下段置物 .....32-11  
 下男（守貞） .....13-10  
 煙出し .....41-22  
 下屋 .....42-39、44-2  
 拳を打つ .....12-2  
 喧嘩 .....29-21  
 玄関 .....2-8  
 子犬 .....16-10  
 高札 .....1-7  
 高札場 .....17-15、19-5、21-7  
 幸の鉾（近江名所図会） .....29-5  
 紅白梅 .....32-8  
 行李 .....4-10、15-28、23-8、37-13、45-12  
 莫産 .....23-19  
 莫産を丸めて担う .....39-12  
 腰板 .....3-6、38-20  
 腰つき障子 .....38-19  
 腰蓑 .....24-9、28-3  
 瞽女（膝栗毛） .....35-17  
 小太鼓 .....33-10  
 こたつ .....27-6  
 小箆笛（守貞） .....15-9、46-5  
 子供の手を引く .....9-9  
 子供を負ぶ .....16-31、29-17、46-12  
 子供を抱く .....39-6

碁盤 .....35-5  
 瘤出（御普請一件） .....8-3  
 小舞竹 .....38-21  
 コンロ .....36-5

## さ

裁断した海苔を水と混ぜる .....27-9  
 財布 .....46-7  
 棹 .....5-15、22-3  
 盃 .....23-12  
 魚を突く .....28-8  
 坂本の衆徒 .....29-16  
 下がり結び（都風俗化粧伝） .....43-17  
 柵 .....2-12  
 桜 .....36-1  
 桜を観る .....36-9  
 笹 .....30-11、33-4  
 笹竹 .....30-21  
 棧敷 .....29-1  
 座頭 .....29-19  
 サメを運ぶ .....18-11  
 皿 .....42-19  
 猿 .....1-1  
 箆 .....37-19、44-10  
 箆から漏れる海苔をすくう .....26-14  
 棧瓦 .....38-45  
 三宝荒神（膝栗毛） .....38-35、39-5  
 敷物 .....36-7  
 矢籠（和漢） .....22-22  
 しごき帯 .....13-2  
 獅子（近江名所図会） .....29-13  
 獅子頭 .....29-12  
 四斗樽〈ツケダル〉 .....27-8  
 蓆 .....14-14、15-12  
 地曳網を曳く .....24-1  
 四方手すり四本棒輦台（島田市史） .....7-4、8-10  
 絞り器 .....20-16  
 島田髷（我衣） .....11-9、37-10  
 締め木 .....20-17  
 蛇籠 .....8-2、10-5  
 尺木垣 .....10-3  
 鯨 .....14-1  
 三味線袋 .....35-18  
 しゃもじ .....34-12  
 舅の穂長 .....34-1  
 宿駕籠（守貞） .....12-14

宿駕籠（守貞）を担ぐ ……15-16  
 修験者 ……27-20  
 障子 ……22-8、41-12  
 上段置物 ……32-12  
 常燈明 ……21-9  
 上半身裸 ……2-17、20-7、29-8  
 「定飛脚」 ……44-27  
 尻がい ……38-34  
 尻掛け ……9-23、42-24  
 尻からげ（嬉遊） ……3-12、13-19、25-20、28-10、  
 35-24、37-27、38-42  
 白い翁面 ……34-3  
 陣笠 ……12-16、25-24  
 陣羽織 ……33-7、33-16  
 「新橋」 ……17-13  
 陣幕 ……32-20  
 「新町村」 ……10-2  
 簾 ……22-9  
 「水神森」 ……10-10  
 鋤 ……34-7  
 頭巾 ……11-19、23-7  
 菅笠 ……3-17、4-1、6-9、20-11、23-9、25-2、27-19、  
 28-9、29-24、30-25、35-15、38-25、44-20  
 菅笠（我衣）「西国順礼」 ……37-12  
 菅笠の裏 ……38-4  
 鮎壳（守貞） ……18-15  
 頭上運搬 ……18-4、34-15  
 裾をつまむ ……43-14  
 裾を持ち上げる ……11-10  
 頭陀袋 ……1-20、4-17、11-16  
 相撲絵 ……16-30  
 摺鉢 ……20-15  
 蒸籠 ……39-9、44-5  
 背負縄 ……12-31  
 背負い紐 ……37-2  
 「ぜさい」 ……41-7  
 「瀬戸染飯」 ……44-19  
 銭 ……37-7  
 銭さし ……12-13  
 扇子 ……11-21、12-27、16-22、29-6、31-11、33-25、  
 34-6、37-16、40-10、43-10、45-5  
 扇子を持って踊る ……36-2  
 草履 ……1-13、4-6、11-14、12-28、13-3、22-6、31-14、  
 35-11、43-7、44-36、46-15  
 僧侶 ……29-2  
 袖の中での売値交渉 ……23-5  
 外で煮炊きする ……36-6

染めた紙をほす ……20-8  
 染地（膝栗毛） ……22-1

## た

待機する槍持ち ……8-18  
 たいこもち ……12-3  
 高下駄 ……13-15  
 高瀬舟 ……10-8  
 高張提灯 ……2-4  
 竹棹 ……20-10、21-2  
 竹間屋 ……17-14  
 竹林 ……43-8  
 襷（守貞） ……1-15、4-19、15-27  
 襷がけ ……20-13  
 たたき ……41-8  
 畳 ……4-28  
 太刀 ……31-15、33-17  
 立烏帽子 ……33-19  
 立ったまま休む ……37-1  
 手綱 ……3-23、9-19、22-19、38-32、42-27、44-24  
 棚 ……42-16  
 煙草入れ ……9-12、31-9、38-31、44-14、44-23  
 煙草盆 ……4-26、12-9、16-3、37-18、38-9  
 煙草を吸う ……45-6  
 足袋 ……31-13、35-10、43-9、44-30  
 太夫（守貞） ……13-6  
 だらり結び（都風俗化粧伝） ……42-10  
 樽 ……5-10  
 俵 ……12-22、37-4  
 箆筒 ……45-3  
 千鳥破風 ……39-24、40-18  
 茶筌髪（守貞） ……43-13  
 茶碗 ……4-27  
 ちゃんちゃんこ ……26-9  
 仲裁する ……3-21  
 手水鉢 ……41-10  
 提灯 ……30-10、32-16、33-5  
 提灯の火で煙草に火を点ける ……30-4  
 帳場 ……41-9  
 ちろり（守貞） ……42-11  
 築地塀 ……2-11、39-20、40-9、41-24  
 杖 ……3-14、11-20、14-12、15-21、25-1、29-23、  
 35-14、36-10、38-28、39-13、45-9  
 束 ……40-17  
 柄袋 ……1-21、4-11、12-17、15-20、16-23、  
 38-39、46-10

築地本願寺「築地西本願寺御堂」……………17-7  
 付け枠……………27-10  
 葛籠（和漢）……………4-16  
 土壁……………38-22  
 角樽（守貞）……………5-17  
 角樽を運ぶ……………36-3  
 釣り竿……………28-17  
 釣り船〈猪牙船〉……………28-11  
 鶴……………19-10  
 吊し看板「ぜさい」……………41-13  
 手足をあげて踊る……………40-11  
 手桶……………14-10  
 出杭（地方凡例録）……………30-18  
 手摺り……………35-6  
 手甲……………26-6  
 丁稚……………16-8  
 鉄鍋……………42-17  
 鉄瓶……………44-3  
 鉄炮……………6-6  
 手縄……………5-7  
 手拭い……………4-14、35-2、38-7  
 手拭いに入れた虫をかざす……………30-23  
 手拭いを被る……………9-10、11-4、12-1、16-17、20-2、  
 28-12、30-3、35-9  
 手拭いを首に巻く……………11-27  
 手を打つ子供……………13-21  
 手を引く……………29-18  
 天蓋……………11-6  
 田楽（近江名所図会）……………29-15  
 田楽……………40-3  
 天狗面「奉納」……………6-10  
 天秤棒……………35-21、37-23、38-36  
 天秤棒を担ぐ……………11-5、18-12、25-3、27-22  
 投網を打つ……………28-1  
 唐人らっぱ……………25-8  
 道中差し（用心）……………4-12、9-26、42-33  
 道標……………39-11  
 道標「東海道・中仙道木曾街道」……………1-2  
 床見世……………17-2  
 土蔵……………17-18、18-8、41-23  
 土手蔵……………19-14  
 殿の到着を待つ家来たち……………8-16  
 苔（膝栗毛）……………5-9  
 土間……………2-1  
 縄（和漢）……………5-13  
 鳥居……………10-11  
 とんとん葺き……………18-7

## な

長柄傘（守貞）……………13-9、32-19  
 中剃り（守貞）……………1-10、13-16、22-4、33-26  
 長暖簾（守貞）……………18-14  
 長暖簾「仙方延寿丹」……………14-2  
 長羽織……………37-15  
 長持……………2-6  
 茄子……………43-1  
 並台（島田市史）……………7-6  
 波幕……………32-6  
 荷……………5-11  
 荷駄……………40-13  
 二挺櫓で船を操る……………28-2  
 担い棒……………13-18  
 荷物を脇に抱える……………38-27  
 荷を馬に付ける……………8-17  
 荷を担いで渡る……………8-15  
 荷を担ぎあげる……………39-21  
 荷を頭上にかかげて渡る……………8-14  
 荷を背負う……………45-11  
 人形……………25-5  
 人足……………7-5、9-5  
 貫……………40-16  
 布鉾……………32-2  
 布を乾す……………17-5、22-2  
 塗笠……………33-6  
 捻り鉢巻……………9-24  
 寝そべる……………9-7  
 ねんねこ半てん……………27-1  
 直衣……………33-20  
 野点をする……………36-8  
 幟「軍書講訳」……………35-19  
 海苔洗い籠……………27-4  
 乗り掛け……………41-18、44-28  
 乗り掛け馬……………40-7  
 海苔切り庖丁で刻む……………27-2  
 海苔簀……………27-13  
 海苔付け……………27-12  
 海苔とり網……………26-2  
 海苔とり笊……………26-3  
 海苔の商談……………27-23  
 海苔剥がし……………27-16  
 海苔ヒビ（広益）……………26-1  
 暖簾……………3-2、14-3、18-13、42-14、45-2  
 暖簾「いつみや・泉屋／ますや・耕屋」……………16-5  
 暖簾「いせや」……………40-1



暖簾「走井・はしりゐ」……………37-8

## は

灰落し……………4-25  
延縄……………30-15  
延縄を引き上げる……………30-16  
羽織……………4-18、12-18、16-19、23-4、25-18、38-24、  
42-37、43-11、45-14  
刷毛……………20-14  
箱看板(守貞)「錦絵さうし問屋 泉屋市兵衛」……………16-9  
箱看板(守貞)……………17-8  
刃先……………43-19  
挟箱……………12-19、14-9、16-21  
箸でゴミを取る……………27-3  
柱看板(守貞)……………16-24、17-12、19-7  
柱看板(守貞)「御香煎所了郭」……………11-11  
柱幕……………32-7  
箸緒……………5-2  
旗……………8-9  
旅籠屋……………3-5  
裸足……………20-4、29-7  
鉢……………37-17  
撥……………33-11  
鉢巻(膝栗毛)……………3-19、4-15、15-19、28-7、44-31、46-11  
八棟造……………46-2  
ぱったり床几……………15-13  
ぱっち(守貞)……………1-22、12-29、13-22、38-26  
花籠……………11-17  
鼻紙……………12-15  
破風……………39-25  
蛤……………42-20  
羽目板……………38-5  
囃子方……………33-1  
腹掛け……………3-24、9-20、22-21、30-19、38-33、42-25  
番小屋(守貞)……………17-4  
番所……………2-7  
盤台……………18-1、37-28  
火入れ……………4-24  
引綱(日本水産補採誌)……………24-2  
曳き綱……………10-7  
引舟(守貞)……………13-5  
魚籠……………24-7、30-17  
庇……………20-20、41-5  
柄杓……………29-22、37-21  
火の見……………18-9  
火の見梯子(守貞)……………17-11、19-11

火の見櫓(守貞)……………17-6  
火箸……………42-3、44-8  
火鉢……………16-4、27-5  
火鉢(膝栗毛)……………42-1  
ひょうたん……………23-13、25-4  
日除け……………40-5  
平田船……………19-9  
鬚付け油……………15-10  
深編笠(守貞)……………16-13  
覆面……………33-8  
富士川……………10-6  
富士山……………10-1  
襖……………4-3、46-3  
二人乗りの並台(島田市史)……………8-13  
二人乗り輦台……………9-3  
懐手にする……………11-22  
舟溜まり……………10-15  
船……………32-4  
文机……………38-14  
ぶらぶら……………16-18  
振り分け荷物……………3-8、30-24、37-11  
風呂鍬……………43-18  
風呂敷包み……………1-12、2-18、3-7、12-26、22-25、  
38-43、43-16  
風呂敷包みを背負う……………9-8、16-14  
風呂敷で担う……………11-26  
風呂敷を肩に担ぐ……………11-23  
風呂敷を片手で持つ……………11-24  
風呂敷を両手で持つ……………11-25  
文庫結び(都風俗化粧伝)……………4-20  
禪(守貞)……………5-12、24-4、28-16  
幣……………29-11、33-15  
ベカ舟……………26-11  
舳先……………30-13  
紅皿……………15-11  
へら……………34-13  
帆……………5-3  
ほうきで掃除する……………14-11  
包装された青花紙……………20-22  
宝鐸……………32-13  
庖丁……………23-17  
棒突人……………19-1  
焙烙頭巾(守貞)……………11-15、16-1  
頬被り(膝栗毛)……………5-20、6-3、9-17、15-18、22-15、  
23-6、26-7、31-17、35-23、46-22  
頬被りをする……………18-3  
帆桁……………5-4

鉾持ち .....32-1  
 干し魚 .....19-6  
 乾し台 .....27-14  
 蛭 .....30-1  
 蛭入れ .....30-12  
 蛭籠 .....30-20  
 棒手振り .....18-5  
 帆柱 .....5-5  
 盆 .....12-11、42-8  
 本馬 (用心) .....2-15、7-9、42-23

## ま

前帯 .....12-10  
 前髪 .....16-7  
 前垂れ (守貞) .....1-16、3-3、4-21、14-18、15-26、  
 22-5、30-22、42-6、43-6、44-35、46-14  
 前結び .....33-24  
 前結びの帯 .....13-13  
 巻き上げる .....22-11  
 巻網を仕掛ける .....28-6  
 幕 .....30-6  
 曲げ物 .....20-6  
 鬚を引っ張る .....3-18  
 馬子 .....22-14、27-17  
 孫庇 .....16-6、37-24  
 升 .....27-11  
 町駕籠 (守貞) .....2-3  
 松 .....4-8、23-1、31-1、35-7  
 「松岡村」 .....10-13  
 松笠 .....42-4  
 松坂屋 .....17-16  
 松葉 .....31-2  
 まねき .....12-8、40-8  
 まねき「月参講」「講」「講」 .....3-1  
 眉を剃った女性 .....11-13、12-5、13-4、22-13、  
 26-13、33-23  
 饅頭 .....33-13  
 饅頭の入った袋 .....33-12  
 右手で褌をとる .....13-14  
 水桶 .....6-14  
 水押 .....5-1  
 見世 (守貞) .....11-2、14-15  
 見世庭 (守貞) .....11-1  
 身縄 .....5-6  
 麦わら細工・馬 .....25-6  
 麦わら細工・宝船 .....25-14

「麦わら細工店」 .....25-26  
 麦わら細工・唐人笛 .....25-13  
 麦わら細工・虎 .....25-16  
 麦わら細工・箱 .....25-15  
 向う鉢巻 .....1-17、12-30、25-7、26-5、31-4、37-25、  
 38-29、43-21、44-22  
 婿の福太郎 .....34-8  
 武者絵 .....16-27  
 筵 .....20-5  
 鞭 (和漢) .....25-19、44-21  
 棟押さえ .....39-16、41-1  
 名所絵 .....16-29  
 メグシでとめる .....27-15  
 飯櫃 .....34-14  
 飯盛女 .....15-1  
 餅米 .....44-9  
 もっこ .....38-37  
 股引 .....25-9、38-41、46-18  
 模様を平縫いする .....22-10  
 両肌脱ぎ .....3-20、15-3、36-4  
 紋付 (守貞) .....46-16

## や

屋形 .....30-9  
 薬師堂 .....41-17  
 役者絵 .....16-28  
 櫓 .....21-6  
 薬研 .....11-8  
 矢筒 .....32-22  
 屋台 (守貞) .....29-4  
 屋台幕 .....32-10  
 屋根 .....32-14  
 屋根看板 (守貞) .....14-4  
 屋根看板 (守貞)「うばもちや」 .....39-7  
 屋根看板 (守貞)「ぜさい」 .....41-3  
 山駕籠 (守貞) .....46-19  
 山駕籠 (守貞) を担ぐ .....45-13  
 山袴 .....6-5  
 槍 .....2-13、7-8、8-7、32-18、39-18、41-21、45-8  
 浴衣 (守貞) .....33-3、35-4  
 湯女 (守貞) .....35-3  
 湯呑み .....12-12  
 弓 .....8-8、22-23、32-21  
 弓張提灯 .....42-35  
 震岩 .....31-10  
 楊弓看板 .....35-20

寄棟 .....15-29、41-15  
四つ手網 .....28-13

## ら

両掛け（用心）.....3-16、8-12、9-25、15-23、35-16、  
39-19、41-19、44-15、45-15、46-13  
輦台 .....7-2、9-6  
輦台の棹.....7-13  
炉 .....6-13  
櫓 .....5-19、24-8  
六尺棒.....13-1

## わ

若衆 .....31-12  
若松 .....32-9  
脇差し .....12-25、31-16  
渡し船.....10-9  
綿帽子.....11-18、13-20、16-20、33-21、42-7  
「和中散」 .....41-11  
草鞋 .....1-6、3-11、4-7、6-2、9-14、15-15、16-16、  
22-18、25-11、31-7、35-12、37-6、42-30、43-24、  
44-18、46-9  
草鞋売りの少年 .....15-14  
草鞋の紐を結ぶ .....39-22  
草鞋を履く .....12-6  
わら帽子.....26-8  
碗 .....42-9

●編纂

富澤 達三  
中村 ひろ子  
福田 アジオ  
山本 志乃

●研究参画

菊池 勇夫	共同研究員、宮城学院女子大学学芸学部教授
君 康道	共同研究員、東京大学大学院総合文化研究科講師
金 貞我	神奈川大学COE教員（非常勤講師）
佐々木 睦	共同研究員、首都大学東京オープンユニバーシティ准教授
鈴木 陽一	事業推進担当者、神奈川大学大学院外国語学研究科教授
田島 佳也	事業推進担当者、神奈川大学日本常民文化研究所教授
富澤 達三	調査研究協力者、神奈川大学非常勤講師、元COE研究員（PD）
中村 ひろ子	神奈川大学COE教員（特任教授）
西 和夫	事業推進担当者、神奈川大学日本常民文化研究所教授
福田 アジオ	事業推進担当者、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科教授
ジョン・ボチャラリ	事業推進担当者、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師・東京大学大学院総合文化研究科教授
前田 禎彦	事業推進担当者、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科准教授
山本 志乃	調査研究協力者、旅の文化研究所研究員

ISBN 978-4-9903017-9-8

---

神奈川大学21世紀COEプログラム  
「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究成果報告書  
『日本近世生活絵引』東海道編

---

発行日

2007年12月20日

編集

「人類文化研究のための非文字資料の体系化」第1班

発行

神奈川大学21世紀COEプログラム

「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究推進会議

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL 045-481-5661 FAX 045-491-0659

URL <http://www.himoji.jp/>

---

制作 有限会社あむ 印刷 株式会社精興社

Printed in Japan

©神奈川大学21世紀COEプログラム2007 非売品

著作権者の文書による許諾がないかぎり、法律が認める場合を除き、本書の全部もしくは一部を複製すること、あるいは送信公開することを禁じます。

## 神奈川大学21世紀COEプログラム 人類文化研究のための非文字資料の体系化

2002年度から文部科学省が開始した「21世紀COEプログラム」は、世界的な研究拠点を構築するための大学支援策であり、大学院博士課程を持つ大学がその対象に採択されることを目指して競うこととなった。私どもの「人類文化研究のための非文字資料の体系化」は、2003年度に学際・複合・新領域の分野で採択された。この計画は、神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科と日本常民文化研究所、それに大学院外国語学研究科中国言語文化専攻が加わり、学際的に研究事業を展開する構想であった。実施に当たっては、事業推進担当者に加えて、COE教員及びCOE共同研究員を制度化し、研究課題にかかわる学内外の多くの研究者に参加を要請し、共に研究に従事してもらい、目的を達成することにした。

今までの文化研究では文字に記録された事象に専ら関心が集中してきた。しかし、文字に表現されない人間の観念・知識・行為ははるかに幅広く、質量ともに大きい。それは文字で表現された事象とは比較にならない。私たちの事業は、これらのなかから①図像、②身体技法、③環境・景観の三つに絞って、それぞれの事象について資料化する方法を開発し、その結果として資料を蓄積し、蓄積した資料を分析して発信することを目的としたものである。それぞれに幾つかの具体的課題を設定した。その組織は以下の通りである。

### 第1班 図像資料の体系化と情報発信

課題1 マルチ言語版『絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂刊行

課題2 日本近世・近代生活絵引の編纂

課題3 東アジア生活絵引の編纂

### 第2班 身体技法および感性の資料化と体系化

課題1 身体技法の比較研究

課題2 用具と人間の動作の関係の分析

### 第3班 環境と景観の資料化と体系化

課題1 景観の時系列的研究

課題2 環境認識とその変遷の研究

課題3 環境に刻印された人間活動および災害の痕跡解説

そして、これら三つの非文字資料を統合し、世界に向かって発信する方法を開発することを課題に、以下の三つの研究班を編成した。

### 第4班 地域統合情報発信

### 第5班 実験展示

### 第6班 理論総括研究

研究事業参画者は班・課題に属し、目的達成に向かって共同研究を展開した。その研究成果は、すでに各種の刊行物やホームページで順次公開してきたが、その最終成果をデータベースや各種情報のウェブ上での発信や展示という方法で世に問い、また多くの研究成果報告書として刊行することとした。本書はその研究成果報告書の1冊である。

なお、本プログラムのもうひとつの目的として、世界的に活躍することができる若手研究者の育成がある。COE研究員(PD・RA)制度を設け、優れた若手研究者を採用し、研究活動に従事してもらうようにした。海外での調査研究を行なうための派遣や、研究成果を発表する機会を設けた。若手研究者の育成は、研究員を支援するだけでなく、拠点となる歴史民俗資料学研究科や中国言語文化専攻の研究教育条件を整え、カリキュラムを充実させ、前期課程(修士)から足腰の強い学生を養成することも構想し、具体化した。

5年間の研究を経て、私たちの拠点が世界の研究者とのネットワークを形成し、様々な形態の非文字資料を集積し、それを世界の人類文化研究に提供する非文字資料研究センターとしての役割を果たすことを構想している。本プログラムへの批判や提言を積極的にお寄せいただければ幸いである。